

未来医療GPワークショップ

こんなときどうする？

患者が訴える症状へのアプローチ

～すべての医療職に求められる初期対応～



イメージ・キャラクター
みらいちゃん

目の前で、患者さんの具合が悪くなった時、 あなたは自信を持って適切な対応が取れますか？

医療者にとって最も不安の大きい場面とは、「患者の異変に出会うこと」といわれます。

その時、医療者は素早く必要な情報を集め、重症度を判断して、適切な対応を取らなければなりません。また、医師に連絡するタイミング—今すぐに医師を呼びべきなのか、あるいは今日中の報告でいいのか—その場で判断しなければなりません。

本セミナーは、医療現場で出会うことの多い「症候」に対し、ケーススタディ方式で学びます。具体的には、症例の最初の情報を提示して、その場面で医療者は何を考え、どのように情報を集め、どう動くべきか、受講者がディスカッションしながらその対応を身につけていきます。

対象は、医師以外の医療職、学生(医学生を含む)です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。



開催案内

日程:平成27年10月8日(木)
～12月10日(木)

全4回(1回だけの参加も可能です)

対象者:医師以外の医療職、
学生(医学生を含む)

参加費:無料(定員・各回100名)

講師:前野 哲博 先生(筑波大学教授/附属病院
総合診療グループ長/総合臨床教育センター部長)

会場:筑波大学医学エリア
イノベーション棟8階講堂 または
臨床講義室A/B(案内図参照)

*参加ご希望の方は、右記アドレスからお申込みください

お問合せ先:筑波大学附属病院 看護部(担当:金澤、梶山)

Tel: 029-853-3823、Fax: 029-853-7022

総合診療医養成事業推進支援室

E-mail: mirai.iryoku@un.tsukuba.ac.jp

プログラム (予定)

開催時間は毎回 17:30～19:00 です

- ★ **第1回:胸痛** 10月8日(木) 臨床講義室B
10月21日(水) イノベーション棟8階 講堂
(どちらの日程も同内容)
- ★ **第2回:呼吸困難** 11月18日(水)
臨床講義室A
- ★ **第3回:意識障害** 11月30日(月)
臨床講義室B
- ★ **第4回:頭痛** 12月10日(木)
臨床講義室B

【お申込み先】

右のQRコードあるいは
下のアドレスからお申込み
ください。

http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/mirai_iryoku/PhysicalAssessment/



お申込み後、e-learning教材へのアクセスコード
をお送りします。効果的な研修のために、事前学
習をしてからのご参加をお願いします。



イノベーション棟と臨床講義室 までのアクセス(案内図)



- A** 本院の駐車場利用または筑波大学附属病院行のバスに乗った場合
- B** 「筑波大学中央」または「筑波大学循環(右回り)」行のバスに乗り、筑波大学病院で降りた場合
- C** 「おおいし」 「追越学生宿舎前」で降りた場合